

R04年度学校関係者評価(高校)

学校評価(高等学校)

教育目標(誠実な人間、良き社会人の育成)

評価項目	評価内容	自己評価		学校関係者評価	
		評価点	学校としての反省・改善策	評価点	意見等
1	本校の教育目標「誠実な人・よき社会人の育成」「清い心・たゆまぬ努力」を達成するための取組みができています。	A	高校入学直後に卒業後の進路目標を設定する時から、即物的な価値観で選択するのではなく、学園の教育目標に沿った目標をめざすよう導いている。また全教員がその姿が生きたモデルとなるよう努めている。	A	自己評価に同意
2	本校はカトリック学校として全ての教育活動を通じ、その使命を果たしている。	A	イエス・キリストの隣人愛の教えを根幹に置き、生徒の発達段階や時代の変化に適切に対応する宗教行事や宗教教育を行った。「宗教」の授業のみならず、学校長や宗教部の教員が担当する朝礼の話や毎日の朝夕のHRにおいても担任が折に触れ、キリスト教的価値観の育成に努めている。入学以来ほとんどの生徒が、祈ることの大切さや他者のために生きるという価値観を理解して、卒業を迎えることができています。	A	自己評価に同意
3	本校の教育課程は教育目標を達成するために、適切な工夫がされている。	A	新学習指導要領が高校1年生より年次更新で施行されていく中で、大きな混乱もなくスムーズに移行することができた。各コースでの教育課程も一新し、各コースの特色を活かした教育課程を実行できている。	A	自己評価に同意
4	本校では生徒の努力の結果を正当に評価し、公正な単位認定が行われている。	A	新学習指導要領の移行に伴い、高校1年生から観点別評価が実施されることとなった。特に高校を中心に教えている先生方からは、初期の頃不安な声も聞かれたが、3年以上の研修を行うことによりしっかりとスタートを切ることができた。	A	主体的に学習に取り組む態度”の評価を実施して頂く事で生徒の学びに対するモチベーションは大きく前進したと感ずます。定期テスト対策、受験対策にとられず、校内外での検定や活動に自主的に参加するようになった事は人間形成にも役にたっていると評価します。
5	本校では落ち着いた環境で生徒の学力をのばすための授業が行われている。	A	年に2度の授業アンケートを実施し、生徒の声を聞き、もしも、完全の余地があれば、迅速な対応を心掛けた。1人一台のクロームブック、全クラスへの電子黒板の設置など、ICT環境も整い、効率的な授業を実施している。	A	自己評価に同意
6	教員の資質向上のため、授業研修や校内研修等が適切に行われている。	A	年間を通して計画的に研修を行うことができた。9回の研究授業、年間で合計4週間の公開授業週間、学外からの講師を招聘しての研修などを先生方は積極的に進めていた。新しい教員が増えていく中で、新任研修も多く行い若い世代の先生方も力を伸ばすことができた。	A	自己評価に同意
7	本校では、学級活動や個別面談などを通じ生徒・保護者の意見が把握されている。	A	学級及び教科の担任、部活の顧問が綿密にコミュニケーションをとり、生徒、保護者の意見把握に努めている。問題の大小にかかわらず、保護者への連絡を怠らず、家庭との連携がとれている。また情報は学年主任から管理職への順次共有し、適切に対応している。	A	自己評価に同意
8	生徒を正しく導くために教師が共通理解をもち、生活指導に取り組んでいる。	A	ドン・ボスコの予防教育法を念頭に、生徒一人ひとりが愛されていると納得できるように丁寧な指導を心がけている。可能な範囲で性差解消に向け、女子制服にパンツスタイルを導入したことに続き、今年度はボーン以外にネクタイも選べるようにした。頭髪や所持品などの決まりに関しては、生徒指導担当者だけでなく、教頭が生徒会役員と話し合う場を設けて生徒達からの意見や要望を聞き、改善に向けて検討中である。昼の生徒会放送の時間には生徒指導担当者が生徒会役員を通して生徒からの質問に答えるなどして、相互理解に努めている。	A	自己評価に同意
9	生徒の進路達成のために、適切な指導と学力養成が行われている。	A	エグゼに関しては、授業進度や全国模試後の自己採点・教員フォローなど、校内で出来ることについて改善に努めた。また、工藤塾との提携(サレジオ特別クラス数増加)についても交渉した。ソフィアに関しては、上智大学教育提携校特別入試の出願書類である事前課題に取り組める時間が増えるよう、高校3年次のエントリーの日程を変更した。また、本年度12月からのIBディプロマプログラムの実施についての情報共有を進めた。フロンティアに関しては、本校卒業生が高校3年次に実施した学校推薦型選抜にエントリーするためのプレゼンテーションを視聴し、下級生に数年後の見通しを持たせた。また、指定校推薦枠の拡大ならびに南山大学との高大連携協定締結など、より手厚い進路保障が可能となった。	A	親身になって相談に乗っていただけたと思います。 進路について真摯に向き合ってくれたことは本当に感謝しております
10	生徒の健康・安全を守るために、通学・防犯・保健の適切な指導や施設管理が行われている。	B	登下校の時間帯は毎日南門に守衛を配置しているほか、カレッジの教員も毎朝校門に立って生徒の安全を見守りつつ、交通安全指導に努めている。今年度は特に校内各所の照明のLED化を進めたほか、運動場に面した段差のある6号館1階グリーンコリドーには人感センサー付き照明を設置し、日没後の危険性が解消された。防災訓練については、年間計画に組んだ日程がコロナ感染の急拡大期にあたり、再三日程を延期しても感染状況とのタイミングが悪かったため、今年度は未実施となってしまった。	B	自己評価に同意

R04年度学校関係者評価(高校)

11	校務分掌	教職員がそれぞれの職務や担当する役割に対し、責任を持って取り組んでいる。	A	各分掌の部長、主任のもと、全教員が協力する体制ができている。今年度は学年のクラス数が6クラスになる10～12年生の学年主任は担任を持たず、学年をまとめやすい体制になり、進路指導や生活指導、学年行事の運営がスムーズにできた。学年だけでなくコース別のタテの連携もより強まり、コースごとの特長をより伸ばすべく一人ひとりの教員の自覚も高まっている。	A	自己評価に同意
12	行事運営	校内外で行われる学校行事は教育目標に照らして十分にその役割を果たしている。	A	いずれもサレジオ精神に基づいて運営された。コロナ禍で滞っていた宿泊を伴う研修旅行も十分な感染対策のもと実施され、他者を思いやりながら協力する心を養いつつ、広く社会に目を向けることができた。ドン・ボスコが推奨した思い切りからだを動かす体育行事も種目や観客の制限はあったものの大いに盛り上がるものとなった。体育祭は初めて校種別による4学年での開催であったが、生徒数が増えた分、ちょうどよい規模となり、滞りなく運営できた。サレジオ祭やクリスマス会、ドン・ボスコの祝日などにはマリアンホールに集って、喜びのうちに音楽やダンスを楽しみ、豊かな情操をはぐくむことができた。	A	今まではコロナ禍のため、体育祭を見る事が出来なかったと言う事は理解できるが、今後最終学年の12年生の保護者だけでも見学できるようにして欲しい。
13	管理運営	学校組織の管理運営系統が明確で、役割分担や協力体制が整っている。	A	学校長、教頭、各校務分掌長、学年主任、教科主任、学年・教科担任と、それぞれのレベルでの管理運営ができています。相互に報告、連絡、相談を密に行い、齟齬がないように心がけている。	A	自己評価に同意
14	施設・設備	本校の施設、設備は生徒が生活する上で快適な環境として管理・整備されている。	B	各教室のエアコンは夏季・冬季の使用前には事前に運転動作の確認を行うことで、急な不具合への備えができるようにした。またエアコンの清掃は定期的に、トイレは日常的に専門業者が清掃に入ることによって、清潔に保たれるようになっている。コロナ対策の消毒スタンドや検温器も台数を増やして各所に備え付けただけでなく、全教室にデジタル表示の二酸化炭素チェッカーを置き、常に換気に気を配れるようにした。また校舎の老朽化によって、窓枠やプライントの不具合も絶えず発生するので、頻りに点検や目配りをしながら、より快適な環境が提供できるよう努力している。	B	自己評価に同意
15	課外活動	放課後の部活動や生徒会活動を通じ、教師が常に生徒と「共にいる」よう努めている。	A	ドン・ボスコの教育法であるアシステンツァ(共にいる)の精神をすべての教職員が意識して、放課後の活動に従事している。部活やサレジオメソッド、検定取得を目指す講座はもちろんのこと、地域の方々や行政、企業と連携しての活動が活性化している。コロナの影響も減り、校外での体験活動やボランティアに教員ともども参加する機会が回復してきたことは大変うれしいことである。休日に指導にあたった教員の振替休日も取得しやすくなってきたので、教員の負担を軽減しながら喜びを持って生徒と接する時間を今後も増やしていきたい。	A	自己評価に同意
全般、総合評価			A	進学実績の向上に伴って内外からの評価が高まり、教職員も生徒も、自身とともに一層の向上心が見られる。コロナ感染の拡大で緊張が高まる時期もあったが、徐々にwithコロナの状況下でも落ち着いた学校生活が送れるようになった。また国際交流など完全に元通りにならない行事はあるものの、新たな活動の模索が進んでいる。指定強化部となっている陸上、女子バレー、男子テニスをはじめさまざまな運動部の活動も活発になって好成績を上げ、検定の取得や文化活動の表彰も目覚ましいものがある。同時に、宗教行事を通じた心の教育も揺らぐことなく、他者のために活動したいというせいからのボランティアの提案も多い。教員だけでなく生徒達も日々目まぐるしく過密なスケジュールではあるが、静かに振り返る時間、祈る時間を大切にサレジオらしく前進していきたい。	A	コロナ禍にあって限られた中ででの生徒の教育のご苦労にこころから感謝申し上げます。このような状況のなかで教職員の方々の生徒一人ひとりの成長を見守りながら、真の幸せをもとめてご尽力下さっておられるのをくみ取ることができました。これからも学園の精神のうちにこそご尽力下さいますようお願いいたします。 全般的には先生方にはとても良くやって頂いているので感謝しています。 毎年同じ事を言って申し訳ないのですが、中高の先生にどんな先生がいらっしゃるのかわかりません。それを知ってどうするかではないのですが、担任だけではなく、中高担当の教科の先生の名前、担当教科だけでも学校だよりに載せてもらいたいかなと思います。

【評価点】

- A: 十分に成果があった
- B: 成果があった
- C: 少し成果があった
- D: 成果がなかった

【評価点】

- A: 十分に成果があった
- B: 成果があった
- C: 少し成果があった
- D: 成果がなかった

今後に向けての考え方(学校関係者評価を受けて)

学校の取り組みに対してあたたかいご理解とご協力をいただき、大変ありがたく思います。エグゼ、ソフィア、フロンティアそれぞれのコースで進学実績が伸び、そのいずれでも入学希望者が増えています。しかし生徒数が増加しても、古くからのサレジオの特長である、きめ細やかな目配りや、生徒に寄り添う教職員の姿勢を損なうことがないよう、気を引き締めてまいります。そしてサレジオを選んで下さる生徒や保護者の皆様のご期待に添う教育を、今後も目指してまいります。コロナ禍で、中止にしたり簡略化されたりしていた行事は、新たなスタイルを取り込みながら再構築していく機会ととらえていく所存です。今年度の12年生の保護者様にとっては3年間コロナで学校の様子を見る機会が極めて少なかった学年でした。ご指摘にあったように、体育祭にお招きできなかったことは非常に心苦しく思います。生徒数の増加にともない、もともと女子校であった学園の運動場は手狭になっております。安全な環境で、生徒たちが十分に活躍できるよう、体育祭や球技大会については校外の会場の利用について検討を始めております。さまざまな課題に取組みながら、保護者の皆様に少しでもご覧いただけるよう方策を探ってまいります。